

<ふるさと小熊>

- ・田園広がる豊かな自然
- ・活発な地域行事と異世代の交流
- ・市街化調整区域による住宅の偏在と人口減少、高齢化
- ・共働き家庭の増加

<学校課題>

- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着と、思考力・判断力・表現力の向上
- ・自ら考え、適切に判断し、支えあって行動する力の育成
- ・挨拶や返事等の基本的な生活習慣の定着
- ・地域を誇りと感じる教育の推進と地域貢献活動の活性化

<市の方針>

- ◇学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。
- ◇全ての子どもたちが、自己力を最大限発揮して、学ぶ意義や喜びを実感する。
- ◇地域との関わりを大切に「子どもが主役となる」活動を実施する。
- ◇いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努め、早期対応を徹底する。
- ◇不登校傾向のある児童生徒への早期対応や、学校復帰・社会的自立に向けた支援や働きかけを充実する。

<市の重点>

- (1)子どもたちが安全で安心して学ぶことができる学校の環境づくり
- (2)地域と家庭、学校が一体となって「生きる力」を育む教育の推進

<学校の教育目標> 美しい心と強い体でよく考え 夢と目標を実現する子
かしこい子 あたかい子 たくましい子

<コミュニティ・スクールのテーマ> 子どもも大人も主体性をもって学び、
愛着と誇りをもって つながるふるさと小熊

<学校経営の重点と具体的な活動>

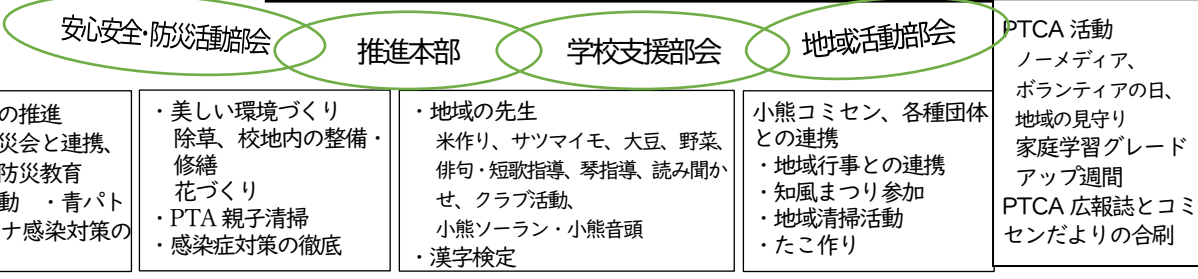
言動のほほえましさあふれる学校
主体的に判断して行動するとともに、支え合いながらやりきろうとする子の育成

- ◇自己決定の場の意図的な位置付け
 - ・目をかけ、声をかけ、おもいをかける後押し
 - ・「指示通りやる」ではなく「様々な方法」を決定し実践する場の位置付け
- ◇仲間と共に創る活動の場の確保
 - ・仲間と活動する楽しみや喜びがどの子にも感じとれる活動の工夫
 - ・「学級ステージ宣言」(4ステップ)を核とした学級力向上(学校行事・日常生活)
- ◇日常的な「生き方」指導
 - ・自分の生き方に自信がもてる働きかけと他のよさを感じとれる時間づくり

授業がよくわかる学校
基礎・基本の定着と支えあいながら主体的・対話的に学ぶ学習集団の育成

- ◇主体的・対話的で深い学びへの改革
 - ・聞く側に緊張感が漂い、意欲の高まりが感じ取れる授業
 - ・学習の進め方がはっきり手厚く導かれている授業(ICT活用)
 - ・教師は焦点を懸命に理解し妥協を許さない授業
 - ・外国語活動、プログラミング教育の充実
- ◇確かな力を身に付ける指導の徹底
 - ・小テストやスキルの時間の継続
 - ・練習・活用の時間を確保した指導展開
 - ・読書活動の充実
 - ・小中一貫：系統的な学習指導

子どもを軸にした学校・家庭・地域の協働
双方向の関係を強化し、地域や地域のひとを生かした活動の充実



・防災教育の推進
地域の防災会と連携、小中一貫防災教育
・見守り活動 ・青パト
・新型コロナ感染対策の推進

・美しい環境づくり
除草、校地内の整備・修繕
花づくり
・PTA 親子清掃
・感染症対策の徹底

・地域の先生
米作り、サツマイモ、大豆、野菜、俳句・短歌指導、琴指導、読み聞かせ、クラブ活動、
小熊ソーラン・小熊音頭
・漢字検定

小熊コミセン、各種団体との連携
・地域行事との連携
・知風まつり参加
・地域清掃活動
・たこ作り

PTCA 活動
ノーメディア、ボランティアの日、地域の見守り
家庭学習グレードアップ週間
PTCA 広報誌とコミセンだよりの合刷

<教職員の構え>

- ◇「わかる」「できる」「楽しい」授業を行う教師
- ◇「おもい」が「聞ける」「分かる」「認める」「広げる」教師
- ◇活動に込めた「おもい」を大切に、姿で示せる教師
- ◇目指す方向は同じに、方法は様々に示せる教師
- ◇やるときはやる、しかし、時間は有効に使う教師
- ◇「誠実・謙虚・ひたむき」の原則を貫く教師

<諸団体との連携>

- ◇小中一貫教育の推進、幼保小連携
 - ・「モア学園」「小熊保育園」との連携
- ◇教育相談機関等との積極的な連携
 - ・SSW、教育支援センター、子育て健幸課等との連携
- ◇主任児童委員・民生委員、青少年育成団体、小熊コミュニティセンター等との連携